

東京都 スポーツ推進委員だより

第122号

(一社) 東京都スポーツ推進委員協議会

2021年 1月 25日

編集：情報委員会

ご挨拶



新年のごあいさつ



スポーツ推進委員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスという未知の敵との戦いに明け暮れ、当協議会においては昭和45年から続いてきた

スポーツ推進委員広域地区別研修会を中止にせざるを得ない状況となり、関東スポーツ推進委員研究大会（茨城大会）、全国スポーツ推進委員研究協議会（栃木大会）も中止となりました。各地区においてもスポーツ推進委員活動が儘ならない1年でした。こうした中でも課題別研修会、女性委員会企画研修会を実施できたのは皆様のご理解、ご協力の賜物であり改めて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染者数は昨年末から増加傾向が続いており、2021年も新年早々から1都3県を対象として緊急事態宣言が発出されるなど、依然として油断できない状態が続いています。今月及び来月に予定している地域スポーツ支援研修会も例年のように対面式で行うことは難しい状況であり、リモート形式など新たな形式での準備を進めているところです。

さて、1年延期となった2020東京オリンピック・パラリンピックについて、JOCの山下会長は年頭のご挨拶で、ゆるぎない決意をもってコロナ対策に万全を尽くし、東京2020大会の成功に向けて一緒に頑張っていきたいと表明されました。東京2020大会が、人類が未知のウイルスに打ち勝った証として安全・安心に開催されることは、スポーツ界全体の活性化につながることであり、都民のスポーツ実施率70%の達成に向けた取り組みをさらに加速させていくことにもなります。

今年の干支は「丑」。丑は十二支の2番目で、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされ、丑年には、先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくといわれているそうです。

思うような活動ができないこの時期には、私たち一人ひとりが研鑽を重ね、都民の期待に応えられるよう資質向上に取り組んでいくことが肝要です。東京都スポーツ推進委員協議会は、引き続きスポーツ推進委員の皆様のお役に立てるよう取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

会長 新島 二三彦

社員総会



令和2年度 第2回社員総会

令和2年9月30日（水）18時30分、武蔵野公会堂にて定刻通り、第2回社員総会（以下、「同総会」と称す）が実施された。

まず新島二三彦会長から、昨今の「新型コロナウイルス」に関して、第2波が心配される中、「新しい生活様式」という視点を踏まえつつ、今後の都スポの在り方等のご示唆があった後、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長の神野美和様より、東京オリパラに関連する準備等の状況（東京2020大会シティキャスト（ボランティア）に関するオンラインでの講座の再開等）の説明があり、引き続き同局調整課課長代理の梅村康子様より、本日配布の資料（学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について）の情報共有がなされた。

その後、定足数の確認がなされ（出席45名、委任状9名 合計54名）、続いて議長の選任、議事録署

名人が確認された。

同総会における議事は、以下の通りである。

(1) 報告事項

1) 理事会（山本委員長より）

第2回（7月8日）、第3回（9月9日）に実施された理事会（両方ともLINEによるビデオ会議）報告があった。

詳細は配布資料参照。

2) 各委員会（各担当委員長）

○企画総務⇒（山本委員長より）

7月15日に実施された第1回会議（武蔵野公会堂会議室）について説明があり、次回会議については現在の所未定。

○研修⇒（中村委員長より）

7月18日に実施された第2回会議（LINE会議）及び9月12日に実施された第3回会議（対面会議）に

ついて説明があった。できれば今後の会議も、これまで通り対面式で実施したい旨の説明があった。

○情報委員会⇒(平野委員長より)

配布資料なし。メールでのやり取りを中心に、「都スポだより第121号」編集作業を実施した旨の説明があった。

○女性委員会⇒(稲垣委員長より)

9月16日に実施された第1回会議について説明があった。

1)財務報告⇒(松田財務及び新島会長より)

・会費について(松田理事):1490名の全会員から会費を徴収しており、全会員数が、1500名を下回ったと報告あり。

・賛助金について(新島会長):昨今の事情を鑑み、今年度は賛助金をお願いしていない。

今後も基本的に賛助金に頼らない運営を目指したいと発言。

2)都スポだより121号発刊(平野委員長より)

第121号は、9月9日に承認を頂き、9月10日に発刊済との報告。

3)全国連合会各表彰(新島会長より)

・全国スポーツ推進委員連合会総会において、新会長の役員改選があり以下の通り、書面決議によって承認された。その他、他承認事項は配布資料参照。

新会長)阿達 雅志

旧会長)齊藤 斗志二 ※尚、齊藤氏は、名誉会長に就任された。

・全国連合表彰・文部科学大臣表彰受賞者の報告があった。今回は、全会員数が1500名を下回った為(再掲)、東京都からは2名が該当となった。

4)スポ推アンケート結果(新島会長より)

第1回目のアンケートを6月に実施し、全ての地区から回答を頂いた。但し、このアンケート実施時期と現在とでは、若干様相が異なるため、第2回目のアンケートの実施を検討している。

5)都スポ協定款再配布(新島会長より)

以前に配布した定款第26条に誤りがあったため、再度定款(改訂版)を配布した。

誤)理事又は監事は、第21条の定める定数に…

正)理事又は監事は、**第22条**の定める定数に…

6)地域スポーツ支援研修会(才郷副会長より)

いずれの研修会も実技は実施せず、講義形式での開催を検討している。但し、どの会場においてもコロナ対

策(感染予防の観点から)を優先する為、会場の許容人数を制限している。よって区部及び市町村部での実施にあたっては、その辺りも考慮した研修方法・方式となる。

7)その他

・「スポーツ推進委員の活躍推進に向けたご提案について」は、配布された資料を熟読

・リーダー養成講座に関しては(昨年度中止)、本年度3月6~7日に実施する方向だが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から推薦枠は、各県1名に変更する。

(2)協議事項について

1)課題別研修について

令和2年度 課題別研修については、11月7日に実施する予定であるが、詳細については未定。来週中には詳細を確定させたい。また、申込締切日まで時間がないので、注意して対応して頂きたい。

講師:立教大学 松尾哲矢教授

会場:中野サンプラザ8階

参加費:無料

その他詳細は、配布資料参照。

2)その他

特になし

(3)その他

配布資料末尾に、「令和2年度東京都スポーツ推進委員会協議会 正会員名簿」を添付。

また、表中、網掛けの会員は、新規会員を意味する。



記事 斎藤 利之 情報委員会(東久留米市)

写真 本下 文洋 情報委員会(西東京市)

社員総会



令和2年度 第3回社員総会

令和2年12月9日(水)19時00分、江東区深川スポーツセンター会議室にて定刻通り、第3回社員総会(以下、「同総会」と称す)が実施された。

まず新島二三彦会長から、本日(東京都)の「新型

コロナウイルス新規感染者数」に関して懸念を示されたが、過日実施された各研修会に関して、担当されたスタッフの皆さまに労いの言葉があった。その後、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推

進部調整課課長代理の梅村康子様より、コロナ禍にあって感染対策を徹底しながら活動いただくよう話があった。

その後、定足数の確認がなされ（出席39名、委任状12名 合計51名）、続いて議長の選任、議事録署名人が確認された。

同総会における議事は、以下の通りである。

(1) 報告事項

1) 理事会報告（山本委員長より）

第4回（10月4日）、第5回（11月11日）に実施された理事会の報告があった。

詳細は配布資料参照。

2) 各委員会（各担当委員長）

○企画総務⇒（山本委員長より）

特に活動はないとの報告。

○研修⇒（中村委員長より）

10月21日に実施された第4回研修委員会について説明があった。主な議題としては、11月7日に行われる事業（課題別研修会）に関する確認であった。

○情報委員会⇒（平野委員長より）

10月29日に実施された第3回情報委員会と11月27日に実施された第4回情報委員会の報告がなされ、都スポだより第122号の担当者の確認と地域スポーツ支援研修会の講師など選定や当日の役割分担及びコロナ対策などが話された。

○女性委員会⇒（岡田副会長より）

11月25日に実施された会議について説明があった。主な議題は、12月5日に実施の女性委員会企画研修会の役割分担の確認であった。

3) 財務報告（松田財務より）

賛助金については、特に無いとの報告があり、事務所家賃の更新及び次年度の費用の報告があった。次年度も引き続き新宿の事務所を借り上げる予定であり、更新料90,000円/月の振込済との報告があった。尚、来年3月からは91,600円（税込み）/月。

4) 課題別研修会（中村委員長より）

11月7日に実施された課題別研修会の内容について詳細な説明があった。当日の参加者は82名、リモートでの参加者は52名、合計134名であり大変盛況だった。対面とリモートの併用で実施した関係で作業の煩雑さは否めないが、大きなトラブルもなく実施出来た。

講師：松尾 哲也氏（立教大学教授）

講演テーマ：「コロナ禍におけるスポーツ推進委員のチャレンジ」

場所：中野サンプラザ8階研修室5・6会議室

5) 女性委員会研修会（岡田副会長より）

12月5日に実施された女性委員会研修会の内容について詳細な説明があった。各区市町村スポーツ推進委

員及び関係行政職員59名、東京都6名、講師等4名、合計69名であり、こちらも大変盛況だった。パラリンピアンの方二條実穂さんを講師に迎え、ご自身の体験など織り交ぜ、スポーツ推進委員に期待する事として大変有意義な示唆を頂いた。

講師：二條 実穂氏及び松井契氏

ファシリテーター：藤田 勝敏氏

講演テーマ：「パラスポーツが与えるものとスポーツ推進委員に期待すること」

場所：東京ウィメンズプラザ1F 視聴覚室

(2) 確認事項

1) 地域スポーツ支援研修（平野委員長より）

年明けに実施予定の①区部（1月23日）②市町村部（2月13日）③全域（2月27日）の講師及びその内容に関して詳細な説明がなされた。また実施時におけるコロナ対策などについても、

①COCOAへの事前登録を促す

②席は全て指定

③地域ごとの参加人数を予め制限等

様々な対策が確認された。

その後、島田副会長によって閉会の辞が述べられ、終了時間は19時40分であった。

本会議における3密などの回避など十分な対策が講じられ、安全・安心して会議が実施出来た。



記事 斎藤 利之 情報委員会（東久留米市）

写真 加来 剛 情報委員会（豊島区）

全国大会



第61回全国スポーツ推進委員研究協議会・表彰

令和2年度は11月12日（木）～13日（金）、栃木県宇都宮市での開催準備が進められていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下で中止となりました。令和3年度は佐賀県で開催予定です。

<受賞者の皆様>

受賞おめでとうございます
<文部科学大臣表彰>

「敬称略」



野島和博（江東区）



田村芳雄（羽村市）

<スポーツ推進委員功労者表彰>



鶴崎勝彦（大島町）



杉山喜廣（日野市）



穴倉祐子（西東京市）



菅野弘一（目黒区）



長峰政子（葛飾区）



寺門孝史（豊島区）

<30年勤続表彰>

南雲千恵（新宿区） 小栗早苗（墨田区） 五十嵐則子（世田谷区） 栗原栄美子（日野市） 鶴崎勝彦（大島町）

<優良団体表彰>

日の出町スポーツ推進委員会

記事 平野 秀夫 情報委員会（江戸川区）

研修会



課題別研修会

令和2年11月7日(土)午後2時から中野サンプラザ8階研修室5、6において課題別研修会が行われました。待ちに待った今年度初の研修会で応募者が多数となったため各地区2名に絞られました。今回初めて行ったリモート参加が多数(52名)と、会場には82名の参加でした。

立教大学 コミュニティ福祉学部教授 スポーツウエルネス学科 松尾哲矢様を講師に招き「コロナ禍におけるスポーツ推進委員のチャレンジ」～コロナ禍でもできること、コロナ禍だからやれること～というテーマで開催されました。

新型コロナウイルス感染防止を日常生活に取り入れた「新しい生活様式」とは、いかに感染を防ぎ心身の健康を守っていくかの挑戦で、(1)「一人ひとりの基本的感染対策」身体的距離の確保・マスクの着用・手洗い(2)「日常生活を営む上での基本的な生活様式」まめに手洗い・消毒・咳エチケット・換気・3密の回避・毎朝の体温測定(3)「働き方の新しいスタイル」(4)「日常生活の各場面別の生活様式」スポーツは、すいた時間や場所を選び、十分に人との間隔を保ち少人数で行い、すれ違う時は距離をとるマナーの配慮をする。予約制を利用してゆったりと行き、狭い部屋での長居はしない。など4項目について細かな説明があり、主催者向けと参加者向けの「感染防止のチェックリスト」を作成し、活用するのも大切だとのことでした。

次にユニバーサルスポーツの紹介があり、「ユニバーサルスポーツとは、すべての人に開かれたスポーツで、スポーツへのハードルをいかに下げられるかを考えることで、体力のない人、運動が不得意な人、やったことがない人たちにこれならできると感じてもらい、高齢者、子供、障がい者にも易しいルールにすることで、ルールが変わればスポーツが変わることを感じてもらい、みんなが楽しくできることで、遊びの本質である楽しさから更に「夢中の状態」を創っていくことができ、また、競争的なものから協同しながら達成することへと変えることで、スポーツの楽しさを再考することができます。」としたうえで、ユニバーサルスポーツのトレゲームについて説明がありました。

身近なもの(例えば風船と、紙を丸めて棒状にしたもの)を用いて、風船を落とさないように棒ではじき、二人一組から始めて徐々に風船と人数を増やしていくというルールをその場で作り、実際に行うというトレゲームでしたが、会場は大いに盛り上がりを見せました。そのあとで、6名ずつに分かれたグループワークでそれぞれトレゲームを創作し、発表。素晴らしいゲームを創作したチームには、自宅で楽しむ、「身近なも

のを使う!」「適度な運動量がある!」「遊び方はシンプル!」「夢中になれる!」「見ていて楽しい!」をコンセプトとした、公益財団法人日本レクリエーション協会主催の、秋の「あそびの日」キャンペーン2020企画『オリジナルおうちで60秒チャレンジ』に応募する運びとなりました。

最後に、新型コロナウイルスによる感染拡大の防止に触れ、「スポーツ推進委員の皆様には、絶対に感染者を出さない。でもスポーツをやっていく上で今だからできる環境づくりを。」と、締めくくりました。

私の地区では、本年度まだ行事が行えておりません。しかし、これから行事を行っていくうえで大いに参考にしていきたいと思いました。



記事 長崎より子 情報委員会(千代田区)

写真 平野 秀夫 情報委員会(江戸川区)

研修会



女性委員会企画研修会

12月5日（土）午後2時から東京ウィメンズプラザ1階視聴覚室において女性委員会研修会が開催されました。新型コロナウイルス感染渦のさなか、66名の研修会への参加がありました。

第1部はリオデジャネイロパラリンピック日本代表車いすテニスに出場の二條実穂様にご登壇いただきテーマ『パラリンピックと私』の講演を行っていただきました。ご自身の生い立ち、ケガをして車いすの生活になったが『全てのことに意味がある』と考え『日本一の大工になりたい』から『車いすテニスの日本代表としてパラリンピックの舞台に立ちたい。世界一のプレイヤーになりたい』の一心で英語を勉強し、一人で海外の試合にも行きました。

夢は大きく持つこと。引退後、障害者スポーツの発展に貢献するための活動を行っています。

その中で印象に残ったフレーズがありましたので紹介します。

『他人と自分を比べない』（比べるのは過去の自分）

『無理と絶対に言わない』（自分の無限の可能性を潰してしまう）

第2部はトークセッションのテーマは『パラスポーツが与えるものとスポーツ推進委員に期待すること』

引き続き二條様と都立学校活用促進モデル事業ボランティアスタッフの松井契様とともにご登壇いただきました。ファシリテーターに東京都障害者スポーツ協会スポーツ振興部 藤田勝敏様に進行をお願いいたしました。

お二方からはコミュニケーションやサポートといった内容から教室内で気をつけていることなど多くの助言をいただきました。

二條様からは『日本では障害のある方に「何かお手伝いすることがありますか?」から会話がはじまるが、海外では知らない人でも初めに普通にコミュニケーションを取ってからお手伝いの有無を聞きます。』

松井様からはボランティアはパラスポーツの経験がないことから始めたと言うご自身の経験からいくつかのポイントとなる点をいただきました。

編集後記

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。昨年は新型コロナウイルス感染症のため、各地区のスポーツ推進委員の皆様も活動がほとんど出来ない状態が続いたことと思います。中長期的に渡り感染症対策と向き合う中「新しい生活様式」の元、「運動不足を解消するためにどのようにスポーツを行うか」を考えていかなければならなくなりました。「安全・安心にスポーツを行う」これからのスポーツ推進委員に求められることは多くなっていくと思われます。皆様頑張っていきましょう！

※この「東京都スポーツ推進委員だより」は、そんな皆様にも有益な情報を発信していくものです。ホームページ共々日々の活動にお役立てください。

#####

- 同じ目線で健常者と同じように接する
- 明るい雰囲気でもた次も行きたいと思わせるようにする
- 使用する用具などの工夫をして誰もができるようにする
- 講習会があればもっとボランティアが増えるのではないか
- 思考のバリアフリー化

直前まで研修の開催が危ぶまれていましたが無事開催することができました。



記事 江上 郁子 情報委員会（北区）

写真 加来 剛 情報委員会（豊島区）

#####

編集 情報委員会 加来 剛（豊島区）

#####